

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科：社会科

科目：歴史総合

単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組～4組

教科担当者：1～4組：高橋 剛

使用教科書：（現代の歴史総合 山川出版社）

教科 社会科

の目標：

【知識及び技能】世界及び日本の歴史について、相互に関連付けながら、史実に基づいて正確に理解する。

【思考力、判断力、表現力等】世界及び日本の動きについて、自らの考察に基づいて総合的に理解し、それを説明できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】歴史を単なる知識としてではなく、現在をより有意義に生きるために考察する勢を育てる。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界及び日本の政治・経済・文化・社会等の動きを史実に基づいて、時間軸・空間軸の中で正しくとらえることができる。	世界及び日本の政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からとらえ、相互に関連付け、体系づけて総合的・立体的に理解し、それを他者に説明できる。	歴史に関する正確な知識に基づいて、現代の課題を直視し、未来に進むべき方向性について考察できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 欧米地域における国民国家の成立と日本の開国 【知識及び技能】 国民国家の動きと第2次産業革命の展開を関連付けて理解し、世界・中国の動きを比較対照しながら、日本の開国の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界と日本の政治・経済の動きを、関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導事項 フランス革命と国民国家の成立 第2次産業革命とヨーロッパの再編 アヘン戦争とアロー戦争 日本の開国と明治維新の展開 日本の開国の過程とその影響 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 国民国家の動きと第2次産業革命の展開を関連付けて理解し、世界・中国と日本の動きを比較対照しながら、日本の開国の過程を理解できたか。 【思考・判断・表現】 世界と日本の政治・経済の動きを、関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	A 単元 欧米諸国のアジア諸地域への侵略と中国・日本の動き 【知識及び技能】 欧米諸国のアジア諸地域への侵略と世界の動きを、中国と日本を比較対照しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国のアジア諸地域への侵略と中国・日本の動きを、世界と日本の政治・経済の動きと関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導事項 欧米諸国の西アジア・南アジア・東南アジアへの侵略 清の改革と洋務運動の展開 明治日本の諸改革の遂行 帝国主義の展開と欧米列強諸国による世界分割 日清戦争・日露戦争と不平等条約の改正 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 欧米諸国のアジア諸地域への侵略と、世界・中国・日本の動きを関連付けて理解できたか。 【思考・判断・表現】 欧米諸国のアジア諸地域への侵略と、世界と日本の政治・経済の動きを関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	12
2 学期	定期考査			○	○		1
	A 単元 総力戦と社会運動の展開 【知識及び技能】 総力戦と社会運動の展開の動きを、世界と日本を比較対照しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 総力戦と社会運動の展開の動きを、世界と日本の政治・経済の動きと関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導事項 第1次世界大戦と総力戦 ロシア革命とソヴィエト連邦の成立 アメリカ合衆国の台頭 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 アジアのナショナリズム 大衆の政治参加 消費社会と大衆文化 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 総力戦と社会運動の展開について、世界と日本の動きを関連付けて理解できたか。 【思考・判断・表現】 総力戦と社会運動の展開と、世界と日本の政治・経済の動きを関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	A 単元 第2次世界大戦の展開とその影響 【知識及び技能】 第2次世界大戦の展開とその影響を、世界や中国と日本を比較対照しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第2次世界大戦の展開とその影響を、世界と日本の政治・経済の動きと関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導事項 世界恐慌の時代 ファシズムの伸長と共産主義 日中戦争への道 第2次世界大戦の展開 第2次世界大戦下の社会 国際連合と国際経済体制 占領下の日本 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 第2次世界大戦の展開とその影響と、中国・日本の動きを関連付けて理解できたか。 【思考・判断・表現】 第2次世界大戦の展開とその影響と、世界と日本の政治・経済の動きを関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	A 単元 東西冷戦の展開と現代の世界 【知識及び技能】 東西冷戦の展開と現代の世界について、世界と日本の動きを比較対照しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東西冷戦の展開と現代の世界を、世界と日本の政治・経済の動きと関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育む。	・指導事項 冷戦の始まり 冷戦構造下の世界と脱植民地化 アジアにおける冷戦の展開と日本 東西陣営の動向と1960年代の世界 軍拡競争から緊張緩和へ 冷戦の終結とソ連の崩壊 現代世界の課題 ・教材 要点まとめプリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 東西冷戦の展開と現代の世界について、世界と日本の動きを関連付けて理解できたか。 【思考・判断・表現】 東西冷戦の展開と現代の世界について、世界と日本の政治・経済の動きを関連付け、体系づけて理解し、それを説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連においてとらえる姿勢を育めたか。	○	○	○	17
合計	定期考査						1
							70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科：社会科

対象学年組：第1学年 1組～

教科担当者：（1組～4組：古峰）

使用教科書：（高等学校『公共』第一学習社

教科：社会科

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目：公共

4組

教科 社会科

科目

公共

単位数：2単位

の目標：

多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。

歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。

既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方について探究することができる。

の目標：

科目 公共

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。	歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。	既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方について探究することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 社会を作る私たちと人間としてよく生きること 【知識及び技能】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想を自分に引き付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として考察し、他者と対話しないしは議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として捉える姿勢を育む。	・指導事項 青年期の特徴 自己形成の課題 職業生活と社会参加 日本固有の価値観と思想 古代ギリシャの人間観 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想を自分に引き付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として考察し、他者と対話しないしは議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と発達課題や古代ギリシャと日本固有の価値観や思想について、自分事として捉えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 他者とともに生き、人間としてよく生きる 【知識及び技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西洋哲学と日本思想の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉える姿勢を育む。	・指導事項 科学と人間 自由の実現 社会を作る人間 人間と幸福 公正な社会をめざして ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋哲学と日本思想の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉えようとしている。	○	○	○	12
2 学期	定期考査			○	○		1
	A 単元 民主国家における基本原理と現代の経済社会 【知識及び技能】 先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代の経済社会の基本原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西洋思想の道徳哲学や功利主義などの考え方を手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 民主政治の成立 民主政治の基本原理 世界の主な政治制度 経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場の仕組み ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代の経済社会の基本原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋思想の道徳哲学や功利主義などの考え方を手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	B 単元 日本の政治機構及び政治参加と日本経済の特質 【知識及び技能】	・指導事項 選挙制度 正論と政治参加	【知識・技能】 選挙制度を軸に、日本の統治機構の原理や仕組みを理解するとともに、日本経済の推移や消費者問題、労働問題	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	A 単元 国際政治と国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際法の基本原理に基づく国際社会のあり方を理解するとともに、グローバル化する国際経済の様相を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会が政治と経済の両面で抱える課題を把握し、その解決の糸口や目標へ向かう道筋について考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、国際社会の諸課題を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 国際社会と国際法 国際連合と国際協力 人種・民族の問題 貿易と国際収支 外国為替市場の仕組み 地域的経済統合の進展と課題 国際経済のつながりと課題 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 国際法の基本原理に基づく国際社会のあり方を理解するとともに、グローバル化する国際経済の様相を把握することができる。 【思考・判断・表現】 国際社会が政治と経済の両面で抱える課題を把握し、その解決の糸口や目標へ向かう道筋について考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、国際社会の諸課題を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	17
定期考査							1
							合計 70

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科：社会科

対象学年組：第2学年

1組～

科目：地理総合

3組

教科 社会科

科目

地理総合

単位数：2単位

教科担当：（1組：今田）

（2組：今田）

（3組：今田）

使用教科書：（『高等学校 新地理総合』帝国書院）

教科：社会科

の目標：

多種多様な情報を収集し、うえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。

歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】

既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方について探究することができる。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。	地理的事象の意味や意義、相互の関連を多面的・多角的に考察し、課題解決に向けて構想を巡らせ、他者に効果的に説明したり、議論したりする力を持つ。	より良い社会の実現を目指し、地球的課題を地理的な視座に基づいて主体的に追究、解決しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成やGISの役割について理解し、様々な地理情報を収集してまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成や地理情報システム等について主題を設定し、多面的・多角的に考察して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の位置に関する事柄に関心と課題意識を持ち、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 世界地図などの表現方法並びに国土の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。 【思考・判断・表現】 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や国土の領域の特徴を踏まえて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまなGISを実際に使用し、GISのしくみやGISで実行できることを捉えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 世界や生徒の生活圏でみられる自然災害について、その規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性を理解し、地理情報をまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について主題を設定し、多面的・多角的に考察して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の自然環境と近年増大している自然災害に関心と課題意識を持ち、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 大きな被害をもたらす自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性等を踏まえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 深刻な災害の発生メカニズムや頻度、災害軽減についての課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の特色ある生活文化をもとに、その文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや変容することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件とのかかわりに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる文化の理解や共存について関心と課題意識を持ち、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 人々の生活文化の特異性について、地域の特徴や自然条件・社会的条件との関連を踏まえて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	単元 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について主題を設定し、多面的・多角的に考察、構想して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	・指導事項 生活圏の調査と地域の展望 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活圏内や圏外との結びつきなどに着目して、課題解決に求められる取り組みなどを様々な視座から考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地でみられる諸問題をもとに、地球的課題の解決には各国の取り組みや国際協力が不可欠であると理解し、共通する傾向や課題相互の関連について大観する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地でみられる諸問題について主題を設定し、多面的・多角的に考察して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題に関心を強め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・指導事項 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食糧問題 都市・居住問題 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 世界各地の諸問題について、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地の諸問題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：

日本史探究

単位数：

2

単位

対象学年組：第 2 学年 1組・2組・3組

教科担当者：（ 大野 健人 ）

使用教科書：（ 詳説日本史 日本史探究 山川出版社 ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】世界と日本の地理的特性、歴史的経緯の基礎的な知識・技能を習得し、相互の関連を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理的・歴史的事象を多角的に捉え、考察・判断し、得られた考えを効果的に表現する能力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野を持ち、グローバル化する社会で主体的に探究を深め、生涯にわたり学び続ける力を育成する。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国家・社会の変容、対外関係、産業・経済の発展、民衆の生活や文化の特色などについて、歴史的な視点から多面的・多角的に考察するために必要な基礎的な知識・概念を習得する。	歴史的事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する力を養う。	主体的に探究する態度を育成し、日本国民としての自覚と自国の歴史への愛情を深めるとともに、多文化を尊重することの大切さについての自覚を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌と日本の社会・経済への影響、第二次世界大戦勃発の経緯、戦後の日本の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌と第二次大戦が日本に与えた影響を多角的に考察し、現代社会の課題と関連付け表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の人々の経験や社会の変容に関心を寄せ、現代の課題や国際社会における日本の役割を、歴史的経緯を踏まえて主体的に考察する態度を養う。	・指導事項 世界恐慌の影響、対外政策の変遷、戦時下の社会実態、文化統制、敗戦の影響 ・教材 教科書・プリント・資料集・映像資料 等	【知識・技能】 世界恐慌と大戦、戦後日本の変化の概要・影響・経緯を理解することができたか。 【思考・判断・表現】 恐慌と大戦の日本への影響を多面的に考察し、現代の課題と関連付け、適切に表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 恐慌と大戦の省察から平和を願い、社会に関与する意欲を示すことができたか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	B 単元 近代の産業と生活 【知識及び技能】 日本の近代における主要な産業の発展と、それが人々の生活様式や社会構造に与えた影響を、世界との関連を踏まえ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代日本の産業と生活の変容について、資料を基に多角的に考察・判断し、自らの考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の多様な人々の生活や社会の変化を多角的に捉え、現代の課題を考察し、よりよい社会の実現を構想する意欲や態度を養う。	・指導事項 産業構造の変化、技術革新の影響、都市化の進展、農村社会の変容、労働環境の実態、生活様式の変化、交通・通信の発達、社会問題と課題 ・教材 教科書・プリント・資料集・映像資料等	【知識・技能】 日本の近代における主要な産業発展の過程と、それが人々の生活・社会に与えた影響について、世界との関連性を踏まえて資料に基づき適切に理解することができたか。 【思考・判断・表現】 資料を適切に活用し、近代日本の産業と生活の変容とその要因・影響を多角的に考察・判断し、根拠を示して論理的に表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代の産業と生活について、当時の多様な人々の生活や社会の変化を多角的に捉え、現代の課題と関連付け、よりよい社会の実現を構想しようと粘り強く学習に取り組むことができたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 第一次世界大戦とワシントン体制に関する知識を理解し、日本との関わりを示す情報を効果的にまとめるための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦とワシントン体制が日本の社会や国際的地位に与えた影響を多角的に考察し、課題を把握し構想したことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦とワシントン体制の歴史的経緯や影響を学び、現代の課題解決や国際協調の必要性を自覚し、より良い社会の形成に主体的に関わろうとする。	・指導事項 世界大戦の推移、日本の参戦と影響、ワシントン体制の形成、軍縮と条約、国際協調の機運、アジア地域の動向 ・教材 教科書・プリント・資料集・映像資料等	【知識・技能】 第一次世界大戦とワシントン体制の知識を理解し、関連資料を用いて日本との関わりを示す情報を収集・整理することができたか。 【思考・判断・表現】 資料から多角的に考察し、第一次世界大戦・ワシントン体制が日本の社会・国際的地位に与えた影響と関連する課題を把握・構想し論理的に表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史を学ぶ中で、現代の課題解決や国際協調の意義を自覚し、より良い社会の形成に向けて主体的に学習に取り組む姿勢や意欲を持つことができたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 単元 近世から近代へ 【知識及び技能】 歴史的な事象に関する知識を深め、幕末・維新の時期に関連する多様な資料から情報を読み取り、整理・活用する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な資料を活用し、幕末・維新の時期の事象の背景や影響を、地理や世界の歴史と関連付けて、多角的に考察し、その歴史的意義や現代の課題とのつながりを論理的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史を問いや資料から探究し、多角的に考察する活動を通して、激動の時代を生きた人々の営みに関心をもち、主体的に歴史を学ぶ。	・指導事項 開国時の状況、不平等条約を考察、幕末社会の変動、国際環境との関連、諸藩の動き、戊辰戦争の経緯、新政府発足の経緯 ・教材 教科書・プリント・資料集・映像資料等	【知識・技能】 幕末・維新期の歴史的な事象を正確に理解し、多様な資料から必要な情報を読み取り、適切に整理・活用することができたか。 【思考・判断・表現】 多様な資料から必要な情報を適切に読み取り、幕末・維新期の事象の背景や影響を地理や世界の歴史との関連を踏まえて多角的に考察し、その歴史的意義を論理的に表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 激動の時代を生きた人々の営みや出来事に関心をもち、問いを設定したり、資料を批判的に読み解いたりする活動に主体的に取り組む、自らの学びを振り返ることができたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治維新から立憲国家、対外戦争等に関わる歴史的諸事象の背景・原因・影響等を理解し、多様な資料を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 明治期の富国強兵や立憲国家の成立、日清・日露戦争と国際関係について、資料を基に背景や影響、関連性を多角的に考察し、多様な視点を踏まえて表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の近代化の歴史を主体的に探究し、国際社会の一員として主体的に生きる意識や社会形成に参画する態度を育む。	・指導事項 近代国家とは何か、富国強兵政策、産業・経済の変化、国際環境の変化、不平等条約の改正、立憲体制の成立、国民国家の形成、日清・日露戦争 ・教材 教科書・プリント・資料集・映像資料等	【知識・技能】 明治維新から立憲国家、対外戦争等に関わる諸事象の背景・原因・影響を理解し、多様な資料から情報を調べ、適切に整理することができたか。 【思考・判断・表現】 資料を的確に読み取り、明治期の富国強兵・立憲国家の成立・日清・日露戦争の歴史的背景や影響、事象間の関連性を多角的に考察し、多様な視点を含めて表現することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の近代化の探究活動に主体的に取り組む、国際社会の一員としてよりよい社会づくりに参画しようとする意欲や態度を高めることができたか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1 合計 70

年間授業計画 様式例									
高等学校 令和7年度（2学年用）教科					地理歴史		科目 世界史探求		
教科：地理歴史		科目：世界史探究		単位数：2		単位			
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 2 組									
教科担当者：（ 1 組：高橋 剛 ）（ 2 組：高橋 剛 ）									
使用教科書：（ 詳説世界史 世界史探究 山川出版社 ）									
教科 地理歴史 の目標：									
【知識及び技能】世界及び日本の歴史や地理について、相互に関連付けながら、事実に基づいて正確に理解する。									
【思考力、判断力、表現力等】世界及び日本の歴史や地理について、自らの考察に基づいて総合的に理解し、それを説明できるようにする。									
【学びに向かう力、人間性等】歴史や地理を単なる知識としてではなく、現在をより有意義に生きるためにより深く考察・探究する勢を育てる。									
科目 世界史探求 の目標：									
【知識及び技能】					【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】		
世界の政治・経済・文化・社会等の動きを史実に基づいて探究し、時間軸・空間軸の中でより深くとらえることができる。					世界の政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、相互に関連付け、体系づけて総合的・立体的な理解を構築し、それを他者に説明できる。		世界の歴史に関する正確な知識に基づいて、現代における諸課題を深く探究し、未来に進むべき方向性について自らの意見を持てる。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 文明の成立 西アジア世界の文明 南アジア世界の文明 地中海世界の文明 中央ユーラシア世界の文明 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	A 単元 諸地域の文明の発展と展開 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 イスラーム教とイスラーム世界の成立 ヨーロッパ世界の成立 西アジア世界の展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 近世ヨーロッパ世界の動向 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の文明の発展と展開について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の文明の発展と展開について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	A 単元 諸地域の交流と再編 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 産業革命と環太平洋革命 欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の交流と再編について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の交流と再編について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	A 単元 諸地域の結合と変容 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 帝国主義の展開とアジアの民族運動 第1次世界大戦と世界の変容 世界恐慌と第2次世界大戦 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の結合と変容について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の結合と変容について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
3 学期	A 単元 地球世界の課題 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 新しい国際秩序の形成 冷戦と第3世界の台頭 冷戦終結と今日の世界 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】地球世界の課題について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】地球世界の課題について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災や地球の課題への取り組みなどを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に調べまとめためうえで、大学受験に対応可能な力を養う。	地理的事象の意味や意義、相互の関連を多面的・多角的に考察し、課題解決に向けて構想を巡らせ、他者に効果的に説明したり、議論したりする力を持ち、自らの考えを論述の形で言葉に表現できる。	より良い社会の実現を目指し、自らが地球的課題を見出し、地理的な視座に基づいて主体的に追及、解決しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 自然環境と資源・産業 【知識及び技能】 自然環境に関する基本的な事柄を正確に理解し、利用する技能を身につける。資源と産業について、分布や特徴からその関連と現在の状況について正確に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然地理的事象を多面的・多角的に表現できるようになる。地域性を踏まえた資源と産業について、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、持続可能な社会の実現を視野に課題を主体的に追究する態度を養う。資源と産業に関心と課題意識を持ち、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 地球環境と人間 地形 気候 日本の自然環境 地球環境問題 農林水産業 食料問題 エネルギー・鉱産資源 工業 資源・エネルギー問題 第3次産業 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 人々の生活が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。資源と産業について、現代世界を取り巻く状況を把握しつつ、基本的な事柄と追及の方法を理解し、その知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 人々の生活について、地域の特徴や自然条件・社会的条件との関連を踏まえて表現できる。資源と産業について、地域性等を踏まえて考察し、その分布や今後の展望を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 限りある自然資源を活用し、持続可能な社会を実現するために行動選択をしようとしている。資源と産業に関わる現代の課題について意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	単元 交通・通信・人口・生活文化 【知識及び技能】 交通・通信網・人口・生活文化に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網・人口・生活文化に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信網・人口・生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 交通・通信 観光 貿易と経済圏 人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題 食食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 交通・通信網・人口・生活文化に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考・判断・表現】 交通・通信網・人口・生活文化に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信網・人口・生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	○	○	○	12
2 学期	定期考査			○	○		
	単元 現代世界の地誌的考察 【知識及び技能】 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球の課題などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球の課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 中国 韓国 ASEAN諸国 インド 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ EU諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オーストラリアとニュージーランド ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球の課題などについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球の課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		
3 学期	単元 現代世界におけるこれからの日本の国土像 【知識及び技能】 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。	・指導事項 将来の国土の在り方 持続可能な日本の国土像の研究 ・教材 レジュメ、教科書、資料集、地図帳、映像資料等	【知識・技能】 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	自宅学習						1 合計 52

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

地理歴史

科目 日本史演習

教科：地理歴史

科目：

日本史演習

単位数：

6

単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（大野健人・田中亮）

使用教科書：（詳説日本史 日本史探究 山川出版社）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】世界及び日本の歴史や地理について、相互に関連付けながら、事実に基づいて正確に理解する。

【思考力、判断力、表現力等】世界及び日本の歴史や地理について、自らの考察に基づいて総合的に理解し、それを説明できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】歴史や地理を単なる知識としてではなく、現在をより有意義に生きるためにより深く考察・探究する勢を育てる。

科目 日本史演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の政治・経済・文化・社会等の動きを史実に基づいて探究し、時間軸・空間軸の中でより深くとらえることができる。	日本の政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、相互に関連付け、体系づけて総合的・立体的な理解を構築し、それを他者に説明できる。	日本の歴史に関する正確な知識に基づいて、現代における諸課題を深く探究し、未来に進むべき方向性について自らの意見を持てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 中世 【知識及び技能】 武家政権の成立、武士社会の成長について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 武家政権の成立、武士社会の成長について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 鎌倉幕府の成立、武士の社会、モンゴル襲来と幕府の衰退、鎌倉文化、室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭、室町文化、戦国大名の登場 ・教材 教科書・プリント 等	【知識・技能】 武家政権の成立、武士社会の成長について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 武家政権の成立、武士社会の成長について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
	A 単元 近世 【知識及び技能】 近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 織豊政権、桃山文化、幕藩体制の成立、幕藩社会の構造、幕政の安定、経済の発展、元禄文化、幕政の改革、宝暦・天明期の文化、幕府の衰退と近代への道、化政文化 ・教材 教科書・プリント 等	【知識・技能】 近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 近世の幕開け、幕藩体制の成立と展開、幕藩体制の動揺について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学期	A 単元 近代 【知識及び技能】 近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と新政府の発足、明治維新と富国強兵、立憲国家の成立、日清・日露戦争と国際関係、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制、近代産業の発展、近代文化の発達、市民生活の変容と大衆文化、恐慌の時代、軍部の台頭、第二次世界大戦 ・教材 教科書・プリント 等	【知識・技能】 近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 近世から近代へ、近代国家の成立、近代国家の展開、近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	41
	定期考査			○	○		1
	A 単元 現代 【知識及び技能】 占領下の日本、高度成長の時代、激動する世界と日本について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 占領下の日本、高度成長の時代、激動する世界と日本について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的事象と現在の諸課題との関連について探究し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 占領と改革、冷戦の開始と講和、55年体制、経済復興から高度経済成長へ、経済大国への道、冷戦の終結と日本社会の変容 ・教材 教科書・プリント 等	【知識・技能】 占領下の日本、高度成長の時代、激動する世界と日本について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】 占領下の日本、高度成長の時代、激動する世界と日本について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	41
	定期考査			○	○		1
3 学期	個別指導						
							合計 ##

年間授業計画 様式例									
高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科				地理歴史		科目 世界史演習			
教科: 地理歴史		科目: 世界史演習		単位数: 6		単位			
対象学年組: 第 3 学年 全 組									
教科担当者: (全組: 加沼 成) () (組:) (組:) (組:)									
使用教科書: (詳説世界史 世界史探求 山川出版社)									
教科 地理歴史		の目標:							
【知識及び技能】世界史や地理について、相互に関連付けながら事実に基づいて正確に理解し、大学受験に対応できる力を養う。									
【思考力、判断力、表現力等】世界史や地理について、自らの考察に基づいて総合的に理解し、それを長文論述の形で他者に説明できるようにする。									
【学びに向かう力、人間性等】歴史や地理を単なる知識としてではなく、現在をより有意義に生きるためにより深く考察・探究する姿勢を育てる。									
科目 世界史演習 の目標:									
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】				
世界の政治・経済・文化・社会等の動きを史実に基づいて探究し、時間軸・空間軸の中でより深く正確にとらえ、大学受験に対応できる力を養う。		世界の政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、相互に関連付け、体系づけて総合的・立体的な理解を構築し、それを長文論述の形で他者に説明できる。			世界の歴史に関する正確な知識に基づいて、現代における諸課題を深く探究し、未来に進むべき方向性について自らの意見を持ち、他者に説明できる。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学期	A 単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探求し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 文明の成立 西アジア世界の文明 南アジア世界の文明 地中海世界の文明 中央ユーラシア世界の文明 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
	A 単元 諸地域の文明の発展と展開 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や考古学的資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探求し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 イスラーム教とイスラーム世界の成立 ヨーロッパ世界の成立 西アジア世界の展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 近世ヨーロッパ世界の動向 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の文明の発展と展開について、史実や資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の文明の発展と展開について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	35
定期考査			○	○		1	
2 学期	A 単元 諸地域の交流と再編 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探求し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 産業革命と環太平洋革命 欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の交流と再編について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の交流と再編について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	41
	定期考査			○	○		1
	A 単元 諸地域の結合と変容 【知識及び技能】世界の各地で成立した諸文明について、史実や資料を基に探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の各地で成立した諸文明について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点からより深く探究し、他者に説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的事象と現在の諸課題との関連について探求し、より良き社会を目指す姿勢を育む。	・指導事項 帝国主義の展開とアジアの民族運動 第1次世界大戦と世界の変容 世界恐慌と第2次世界大戦 ・教材 教科書・要点まとめプリント・資料集・映像資料・サブノート 等	【知識・技能】諸地域の結合と変容について、史実や考古学的資料を基に深く探究し、時間軸・空間軸の中でより深く理解できたか。 【思考・判断・表現】諸地域の結合と変容について、政治・経済・文化・社会等の動きを、歴史的な観点から深く探究し、それによって得た知見を他者に説明できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的事象を現在の諸課題との関連において探究し、より良き社会を目指す姿勢を育めたか。	○	○	○	41
定期考査			○	○		1	
3 学期	個別指導						
							合計 ##

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科：社会科

対象学年組：第 3 学年 1 組～

教科担当者：（1組～3組：羽山）

使用教科書：（『高等学校 倫理』第一学習社

教科：社会科

科目：倫理演習

3 組

教科 社会科

科目

倫理演習

単位数： 2 単位

の目標：

多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。

歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。

既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方について探究することができる。

科目 倫理演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代社会の特質・様相を理解する。	日本思想や西洋思想を手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をする。	身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 人間の存在や価値と宗教 【知識及び技能】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想を自分に引き付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想について、他者と対話ないしは議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想について、自分事として捉える姿勢を育む。	・指導事項 古代ギリシア思想 ユダヤ教 キリスト教 イスラーム 仏教 古代中国思想 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想を自分に引き付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想について、自分事として考察し、他者と対話ないしは議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシア思想や世界三大宗教、古代中国思想について、自分事として捉えようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		
	A 単元 人間のあり方と社会 【知識及び技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西洋哲学の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉える姿勢を育む。	・指導事項 科学と人間 自由の実現 社会を作る人間 人間と幸福 公正な社会をめざして ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 近代以降の西洋哲学の内容を理解するとともに、日本におけるその受容のあり方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西洋哲学の内容を正確に説明できるようになるとともに、その考え方を踏まえ、現代の諸課題を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 先哲の思想を、現代の諸課題との関連において捉えようとしている。	○	○	○	8
2 学期	A 単元 現代の人間と社会を捉える思想 【知識及び技能】 現代の西洋哲学の内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構造主義や正義論などを手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 精神分析学 性の哲学と減少額 フランクフルト学派 構造主義・言語哲学 正義論 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 先哲の思想を踏まえて人間の尊厳と平等を適切に理解するとともに、現代社会の基本原則を理解することができる。 【思考・判断・表現】 構造主義や正義論などを手掛かりに、適正な民主政治や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な経済社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		
	A 単元 国際社会に生きる日本人としての自覚 【知識及び技能】 日本固有の思想や外来思想の受容のプロセスについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の中における日本固有の思想について吟味し、それらのあるべき姿を考察したうえで、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、現代の諸課題を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 日本の風土と伝統 日本仏教の展開 日本における儒学の展開 国学思想・町人の思想 明治の啓蒙思想 近代的自我の確立 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 日本固有の思想や外来思想の受容のプロセスについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 世界の中における日本固有の思想などについて吟味し、それらのあるべき姿を考察したうえで、対話・議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、現代の諸課題を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	13
3 学期	個別指導						
							合計 45

【知識及び技能】 多種多様な情報を収集したうえで合理的・論理的に取捨選択し、有用な情報の体系を創ることができる。
 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方や公民的資質を基に、自分の考えを、論理的で分かりやすい文章で表現できる。
 【学びに向かう力、人間性等】 既存の知識を踏まえ、未来の世界や日本、あるいは人間の在り方に生き方について探究することができる。

科目 政経演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国際社会における日本の役割を政治的・経済的観点から理解することができる。	国際社会がかかえる諸課題について、各国の歴史や立場・考え方を踏まえて考察し、他者と対話・議論することを経て、自分の考えを深めることができる。	身に付けた知識・技能を援用して、国際社会の向かうべき方向性について協働的に考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際紛争の歴史的経緯を踏まえた上で、国際法や国際機構が果たす役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際法や国際機構の仕組みの理解を手掛かりに、適正な国際秩序のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、あるべき国際社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 国際社会の変遷 国際法の概要 国際機構の役割 国際紛争と軍縮への取組み ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 国際紛争の歴史的経緯を踏まえた上で、国際法や国際機構が果たす役割を理解することができる。 【思考・判断・表現】 国際法や国際機構の仕組みの理解を手掛かりに、適正な国際秩序のあり方を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、あるべき国際社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	A 単元 現代の国際経済 【知識及び技能】 相互依存関係が深まる国際経済の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際経済にまつわる諸概念の理解を踏まえ、その諸課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際経済の諸課題を考える姿勢を育む。	・指導事項 国民経済と国際収支 為替相場の変動 国際協調と国際経済機関 国際社会における日本の役割 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 相互依存関係が深まる国際経済の特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 国際経済にまつわる諸概念の理解を踏まえ、その諸課題を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際経済の諸課題を捉えようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○		
	A 単元 現代日本の政治 【知識及び技能】 現代の日本の政治にまつわる諸事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 議会制民主主義の理念などを手掛かりに、適正な民主政治や公正な社会のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 法の支配と立憲主義 議会制民主主義と世界の政治体制 国会、内閣、裁判所の仕組み 政党政治と選挙 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 現代の日本の政治にまつわる諸事象を理解することができる。 【思考・判断・表現】 議会制民主主義の理念などを手掛かりに、適正な民主政治や公正な社会のあり方を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、適性な民主政治や公正な社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
3 学 期	A 単元 現代日本の政治 【知識及び技能】 現代の日本の政経済にまつわる諸事象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場経済の機能や金融の仕組みなどを手掛かりに、適正な取引や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をする。 【学びに向かう力、人間性等】 身に付けた知識・技能を援用して、適正な取引や公正な経済社会のあり方を協働的に考察する姿勢を育む。	・指導事項 経済活動と市場 物価と景気変動 消費者問題 財政の仕組み 金融の仕組み 社会保障制度 ・教材 レジュメ、要点プリント、教科書、資料集、映像資料等	【知識・技能】 現代の日本の政経済にまつわる諸事象について理解することができる。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能や金融の仕組みなどを手掛かりに、適正な取引や公正な経済社会のあり方を考察し、対話・議論をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身に付けた知識・技能を援用して、適正な取引や公正な経済社会のあり方を協働的に考察しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
	個別指導						
3 学 期							
							合計 52